

STEM REPORT コスモ PA 2021.12.3 FRI

12月3日（金）6, 7限、コスモサイエンスコース2年生 第4回PAとして
自然科学研究機構による授業③「生理学研究所」を実施しました。

生理学研究所 加塩 麻紀子（かしょまきこ）先生に来校いただき
「感覚に関わるイオンチャネル」というテーマで講義していただきました。

今年のノーベル生理学医学賞はカプサイシンやメントールによって発生する温覚と痛覚の受容体
発見。生理学研究所で研究されている先生の中には、受賞者と共同研究をされた方もいらっしや
います。そして、さらに新たな発見の研究を積み重ねている加塩先生の熱い熱い講義。生徒は実
に幸運です。

講義はノーベル賞を受賞した David 博士と Ardem 博士の研究過程や実験の設定についての解説
から始まりました。クローニングやノックアウトの知識は、すぐに多くの理解を助けそうです。
メントール受容体 TRPV 1 の理解から機械刺激受容体 Piezo1、Piezo2 の解明へ。研究の進歩にシ
ンクロするように受講生の知識も進歩していきました。感覚の研究が今後どのように発展するか、
わくわく感を残しながらあっという間に講義時間終了。加塩先生、ありがとうございました。

受講生の声：最近習ったチャネルについての講義を聞いたことがとても嬉しかった。

機械刺激受容体のお話では、さまざまなマウスの実験が出てきて面白かった。

最初の受容体を見つけることが、一番難しい。1個見つかりと、次々見つかる。

0から1が難しく、1からたくさんは割と簡単だ、というのは本当なんだと思った。